

青年部・女性部

女性部活動に夢を持って

く大河ドラマ『武蔵』で観光振興・特産品開発く

兵庫県佐用町商工会女性部

姫路市から車で一時間、岡山県との県境に佐用町は位置し、山々に囲まれた緑豊かな人口約八四〇〇人の町です。澄みわたった冬の夜空に宝石をちりばめたように美しく輝く満天の星。佐用町は平成二年「星の都宣言」を行い、町を見下ろす大撫山山頂に、県立西はりま天文台公園が整備されました。

平成十六年十一月には、口径二メートル、国内では最大級の反射式望遠鏡が、一般公開用としては世界最大を誇る天文台として設置され、約一〇〇億光年先まで画像に収めることができ、遠方からもたくさんの方が訪れ、「星の都さよう」として知られる町になってきました。

当商工会も他の過疎地域の商工会と同様に、経営者の高齢化、後継者不足、また大型店の進出により、商店街の空き店舗が目立つようになって

ています。そんな中、商工会会員三〇〇人、そして女性部員三二人で、活動に取り組んでいます。

武蔵関連事業

平成十五年のNHK大河ドラマが『武蔵・MUSASHI』に決定した平成十四年、突然、佐用町は脚光を浴びることとなったのです。当町は武蔵の母の古里であり、十三歳の武蔵が初決闘をした町なのです。

「武蔵・初決闘の町さよう」として、観光PR、町特産品開発にと、大きなチャンスの到来でした。町行政も「武蔵まちおこしの会」を発足させ、女性部は晩年の武蔵に似ている町の助役に武蔵に扮装してもらえないかと提案したところ、助役の協力を得たと同時に、キャンペーンが始まりました。

助役の武蔵はとても評判になり、



秋の大収穫祭

マスコミにも取り上げられ、イベントに式典にと引っぱりだことなり、助役武蔵の心意気に負けないよう、当町女性部の武蔵関連事業はスタートを切ったのです。

はじめに、佐用駅ホームに横断幕の設置、商店街に少年武蔵をイメージした手作りミニ看板「武蔵くん」を飾り、町を盛り上げました。

以前から当町には特産品や土産品が少なく感じていましたので、女性部ならではの「武蔵」に関連した特産品はないかと部員たちで考えました。そして、武蔵の恋人「お通」にスポットをあてることにし、「お通だんご」（二刀を差した三色団子）、「お通の焼きもち（あんこ・きなこ）



「お通の焼きもち」販売風景

しょうゆ味の焼きもち」等々を発売しました。イベントで販売したところ好評を博し、イベントの終了を待たずに完売となるほどでした。

「お通シリーズ」と並行しつつ、武蔵の負けなしの勝負運と、招き猫の商売繁盛の願いを込めて、「勝利への招き猫」ストラップ二〇〇〇個を作

だらけでしたが、部員たちで協力しながら慣れない営業をし、その結果、追加販売までできるようになったのです。

NHK大河ドラマ『武蔵・MUSASHI』の放映が終わった今も、「勝利への招き猫」ストラップは、「道の駅平福」で販売を続けています。観光シーズンには、女性部員たちはお客さんとの会話を楽しみながら「お通の焼きもち」の実演販売をして、「武蔵初決闘の町さよう」をPRしています。

これら武蔵関連事業においては、わずかではありますが収益もあり、昨秋の台風二一号での当町の多大な被災の折には、この収益を活用して、一人暮らしの高齢者に「非常持ち出し袋」を配布し、喜んでいただきました。

今後もこれら「武蔵関連事業」を継続し、女性部ならではの観光PRに力を示していきたいと考えています。

花いっぱい運動

また、継続事業の一つで「花いっぱい運動」も展開しています。平成十八年に「のじぎく兵庫国体」が開催されるにあたり、行政から花いっぱいモデル事業の一環として、町内に花を配付してほしいとの話を受け、

平成十五年より三年計画で約四〇〇鉢のプランターに花を植えることになりました。行政や商店会、青年部の応援をいただいて二年が経過した現在、三〇〇鉢のプランターに花を植えて配付できました。

女性部員たちは、このモデル事業に計画の最後の一年も取り組み、花々で彩られた商店街に団体関係者など多くの人たちに足を運んでいただけよう、癒しの場にしたと花いっぱい運動を継続していきます。

また、当女性部としては「体験型視察研修・行政懇談会・他団体合同講演会・パソコン講座」等を実施する中で「時代が何を要求しているか？」を模索しています。

平成十七年は、行政合併を控え、商工会も合併という大きな時代の波に向かっていきます。今までの町づくりは、女性部は裏方的なイメージがありました。時代は女性の出番を必要としているのではないでしょう

か。これまで実施してきた事業で得たものは、私たちにとって貴重な財産となりました。これらを活かし、女性性であるという立場で夢を持ち続け、「星の都さよう」らしく、いつまでもキラキラ輝き続けていきたいと思っています。